

目標達成計画

作成日 : 平成 30 年 9 月 1 日

評価結果

市町提出日 : 平成 30 年 11 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害訓練について、現行も様々な場面を想定して訓練を行っているが、運営推進会議などで出席者との意見交換も参考にしながら更に充実した訓練内容にしていきたいと考えている。	訓練を通して、日常的に行動できるような癖をつけていく。毎月の会議の中でも更に充実した話し合いや意見交換を行い、頭の中で常に想定できるようにする。	毎月の会議の中で、毎回違った災害を想定して話し合いを行う。2ヶ月に1回の運営推進会議では、出席者からも災害に関する見解や意見を頂戴し、訓練に反映できるようにする。	6 か月
2	43	利用者個々の排泄パターンや状態を把握し、適切な時間誘導や、できるだけオムツの使用に頼らないケアを実践している。日中に関しては9人中8人がリハビリパンツも含めたオムツは使用していないが今後も可能な限り現状を維持したい。	できるだけ今後もオムツを使用しなくても良い状態の維持やケアを実践していく。ただし、そこに固執するのではなく、本人の意向や状態を吟味したうえで、負担がなく快適な方法を模索していく。	汚染することを避けることをメインに考えるのではなく、汚染による本人への不快感をメインに考える。定期的なトイレ誘導の継続とオムツの使用、不使用を適切に判断し、必要であればオムツの使用も考慮し、不快感の除去を目指す。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。